

さがしてみよう！ ④鎌倉～戦国時代のもの

大井郷土資料館 <住所 ふじみ野市大井中央2-19-5 電話 049-263-3111>

上福岡歴史民俗資料館<住所 ふじみ野市長宮1-2-11 電話 049-261-6065>

～もうじき、夏休みですね！ぜひ、資料館にも来て、いろいろ調べてみてね！～

★ふじみ野市にある 鎌倉～戦国時代のおもな遺跡★

●のところが、遺跡だよ。

戦国時代のころには、「川崎郷(ごう)」「福岡郷」「大井郷」という地名も登場します。

大井氏館跡

(おおいし やかたあと)

源頼朝につかえていた大井氏という武士のやかたが、大井べん天の森の近く、徳性寺(とくしょうじ)のあたりにあったといわれています。

長宮遺跡(ながみや いせき)

長宮氷川神社のあたりは、屋しきを囲んでいたと思われるみぞや井戸のあと、「茶の湯」の茶わんやなべ・すりばち・おろし皿などの道具なども見つかっています。

★上福岡歴史民俗資料館で展示中！

城山遺跡(しろやま いせき)

戦国時代にこのあたりを領地としていた富永善左衛門(とみなが ぜんざえもん)という武士のやかたが、城山公園の周辺にあったといわれています。

近くにある城山天神社(しろやま てんじんしゃ)は、このやかたでまつっていた神社と伝えられています。

本村遺跡(ほむら いせき)

東原小学校のあたりは、昔から「もとの村」という意味の「本村(ほむら)」とよばれ、鎌倉時代から室町時代にかけて村があり、「大井郷」だと考えられています。江戸時代の初めに川越街道が整備されると、この村が西へ移転して「大井宿(おおいしゆく)」になりました。

発掘調査のようす。みぞや建物、井戸のあとを発見→



資料館で見よう！「鎌倉～戦国時代のもの」

上福岡・大井の2つの資料館で展示しています。ほかにもあるので、ぜひ見に来てね！

★仏様に願いをこめて…。

鎌倉時代から戦国時代にかけて、仏様をあらわす絵や字などを石にきざんだ「板碑(いたび)」が作られました。「仏様のいる世界では、幸せに暮らせるように」との願いをこめてつくられました。

市内の板碑は、埼玉県の大井町(ながとろ)町や小川町などでとれる緑色っぽい石を使っています。資料館以外でも、板碑が残っている寺や墓地など(特に新がし川や川越街道に近いところ)があるので、気をつけて見てくださいね。



大井郷土資料館の展示。板びは「板石(いたいし)とうば」とも言います。



1259年に建てられた市内でいちばん古い板び(上福岡歴史民俗資料館で展示)

★戦国時代はたいへん！

戦国時代の中ごろのふじみ野市のあたりは、神奈川県にある小田原城(おだわらじょう)にいた北条氏(ほうじょうし)が支配していました。

写真の資料は、1587年7月に、北条氏が大井の人々に対し、自分の城のある小田原を豊臣秀吉(とよとみ ひでよし)が攻めることになったら、その場合は大井からは兵士を2人出すように、と命じた命令書です。



大井郷土資料館で展示中！

大井郷にいる15～70才までの人から兵士を2人出すことのほかに、武器の種類・大きさなども決められていました。



行ってみよう、見よう！～鎌倉街道～

教科書50・55ページに鎌倉街道の図がありましたね。じつは市内にも鎌倉街道が残っているんですよ！

大井べん天の森の近く、大井分館の前に「古坂(ふるさか)」とよばれている坂がありますが、この道がまさに鎌倉街道と言われています。

上福岡駅の近くから亀久保を通り、古坂をのぼって、さらに三芳町藤久保の方へと続く道だったと考えられています。



この鎌倉街道は、三芳町に続くよ！